

# ハイキング同好会



平成26年度は12回のハイキング(山行)を実施した。

## ◆雲取山 (平成26年4月27・28日)

通算39回目は埼玉・山梨・東京の3県に跨る百名山の一座を1泊2日で登った。埼玉側から3名、東京側から4名の2方向からの登山で、山頂手前の山荘で合流しコタツで杯を傾けながら登りの苦心話に盛りあがった。

## ◆山菜(シドケ)採り (5月3・4日)

恒例になった相間川渓谷での山菜ハイキングは、6名の参加だった。翌日4日には笹埴山に3名で登るも予定の12時まで帰る事が無理との判断で、途中で登頂をあきらめた。

## ◆鎌倉源氏山 (5月17日)

初級コースのハイキングのためか12名の参加と多く、また好天に恵まれ爽やかなトレイルを楽しんだ。

## ◆男鹿三山「真山・本山・毛無山」(6月29日)

秋田市内のホテル、男鹿の実家などに前泊し当日はJR男鹿線羽立駅に集合。真山バス停からの登山となったが、三山とも頂上は自衛隊の施設があるため登らずに通過し、6時間の歩行で門前の旅館に到着した。



男鹿五社堂前 (重要文化財)



地鶏串焼割烹  
音羽亭

TEL. 3345-9434

新宿区西新宿6-6-2 ヒルトンホテルB1

◆営業時間 / PM5:00~PM10:00 ◆日曜・祭日はお休みです。  
(ランチタイム / AM11:30~PM1:30)

## ◆尾瀬の至仏山 (7月19日)

百名山の一座であるこの山に4名で登った。前日23時に池袋からの夜行バスで出発。翌朝5時半に鳩待峠からの登山を開始したが、前日の雨で登山道は小川状態でかつ前夜の睡眠不足もありかなり厳しい山行となった。

## ◆富士山 (8月24・25日)

5名の参加で富士山に挑んだ。このメンバーに、なんと75歳の大先輩がいた。1日目は富士宮口5合目(2380m)から登り、9合目(3400m)の萬年雪山荘に宿泊。翌日は大荒れの天気のため、下山を余儀なくされ残念な登山であった。

## ◆丹沢塔ノ岳 (9月13日)

6名の参加、天気は素晴かった。ラストの長い階段の後の山頂は人で溢れていた。恒例のビールで至福の時間を堪能できた山旅だった。



丹沢塔ノ岳山頂

## ◆笹埴山 (11月13日)

5月4日の再チャレンジで小雨降る中、4名で挑んだ。道しるべも殆どなく、登るに従い踏み跡も無くまったくやっかいな山で、下山では2度ほど道に迷いかなりワイルドな山行だった。

## ◆秩父の鐘撞堂山 (12月7日)

参加者は6名。標高は330mと低山ながら山頂からの展望が良いことで人気の山。頂上はかなりのハイカーで賑わっていた。帰りの寄居駅に2時半と早めに到着し反省会の店探し困ったが、どうにか駅前の産直販売店の2階を提供してもらい、今年の山行を締めくくった。

## ◆箱根矢倉岳 (1月17日)

新年山行は、9名で実施。天気に恵まれ絶好の登山日和。登山口の小倉沢からの山容の望めが良く楽しい山行だった。山頂からは、過去に登った富士山・金時山・神山・明神ヶ岳が眼前にあり素晴らしい眺めを堪能した。



箱根矢ノ倉岳山頂

## ◆小田原曾我丘陵 (2月14日)

9名で梅見ハイキング。ここは日本3大仇討で知られる曾我兄弟ゆかりの地だ。満開にはやや早い感でしたが、大勢の梅見客で賑わっていた。

## ◆奥武蔵の日和田山 (3月14日)

26年度最後の山行だ。初参加1名含め9名中男鹿出身が4名。郷土の男鹿の話で大盛り上がりの中、急登あり岩場ありのバラエティーに富んだコースだ。2時間程の歩行で日和田山頂305mに到着したが、大人数のハイカーで座る場所がないため、さらに50分先の物見山(375m)での昼食場所確保。下山に1時間40分を要したが、到着した武蔵横手駅付近には反省会のできそうな店が見当たらず解散となった。

## ハイキング同好会

代表 奥山 悦 (昭和41年工業化学科卒)

携帯 090-5771-1743

E-mail: okuyama.kou@mx5.ttcn.ne.jp

事務局 嵯峨 良平 (昭和43年電気科卒)

携帯 080-1282-9458

E-mail: saga\_ryohei@ybb.ne.jp